

眼瞼痙攣とは

眼瞼痙攣は、自分の意思とは関係なくまばたきが増えたり、眼が開けられなくなる病気です。中高年、女性に比較的多くみられます。初期症状としては、目の周りに違和感を感じたり、光がまぶしく感じたりしますが、重症例では眼を開けることが困難で機能的に失明の状態になる場合もあります。多くの場合は、両目の軽い症状から始まり、徐々に悪化していきます。また、ドライアイやドライアイに似た症状を合併することも多いです。睡眠薬や神経・精神科系薬の長期投与により、薬剤性の眼瞼痙攣が誘発される事が知られています。しかし、それ以外のはっきりした原因は未だわかっていません。

■ 症状

瞬目異常	瞬きの回数が増える、急に目が閉じてしまうなどの症状が出ます
眼精疲労	目が疲れて重たく感じ、目を閉じていた方が楽になります
羞明	屋内の蛍光灯などをまぶしく感じ、目が開けづらくなります
ドライアイ	目の異物感、乾き、ごろつきなどの症状が出ます

■ 検査

随意瞬目テストを用い、痙攣を一時的に誘発することで、眼瞼痙攣が生じているかどうかを確認します。涙液検査により、眼瞼痙攣に合併しやすい、ドライアイの所見があるかどうかを確認できます。

■ 治療



遮光眼鏡



クラッチ眼鏡

眼瞼痙攣は原因不明の疾患であり、基本は個別の症状に対する治療(対症療法)になります。

- ① **遮光眼鏡** 目に入る光の一部をカットすることで、まぶしさを抑え、痙攣を生じにくくします。
- ② **クラッチ眼鏡** 押し上げ棒の付いた眼鏡で、目を開きやすくします。眼瞼痙攣の患者さんで見られる、眉の近くを軽く押さえると目が開けやすくなる現象(感覚トリック)を利用しています。

- ③ **ボツリヌス毒素治療(ボトックス®治療)** ボツリヌス毒素を目の周りに注射することで、筋肉を麻痺させ、まぶたの意図しない動きを抑えます。2～3日程度で効果が現れ始め、1～3週間で最大の効果が得られますが、3～6か月すると効果が切れてしまいます。そのため、数か月おきに繰り返し注射を行う事が必要になります。
- ④ **眼瞼手術** ボツリヌス療法が無効例あるいは減弱例に瞼の手術をすることで、ボツリヌスの効果を増強したり、注射の間隔を延長することができます。しかし、長期的にみると効果が減弱することもあります。また、手術はあくまでもボツリヌス療法が無効もしくは効果が乏しい方に限ります。

■ 当院での実績

眼瞼痙攣に対して、当院では多くの治療実績があります。ボツリヌス療法では、約80%の方で初回注射後に一定の効果が認められます。また、徐々に投与間隔を延ばし、最終的には注射が不要になる方も一部ですがみられます。しかし、残念ながら初回投与から効果がない方や、何度か投与するうちに効果がなくなってくるケースもあり、この場合は眼瞼の手術を行っております。

■ 患者さんにお伝えしたいこと

「痙攣」と名前が付いていますが、まぶたがピクピクするような病気ではなく、まばたきのコントロールの異常がこの病気の本態です。また、ドライアイ様の症状が出るが多いため、眼瞼痙攣と診断されるまでに時間を要することがあります。「まぶしくて目が開けていられない」「目が急に閉じてしまい事故を起こした」など、ドライアイだけではみられない症状が出る事が重要な手がかりになります。

このような症状でお悩みの場合は、眼科を受診し、その旨を伝えていただくことをおすすめします。

■ 本学での取り組み（臨床研究）

現在、JINS株式会社と共同で眼瞼痙攣の瞬目をウェアラブル眼鏡で捉えることができるか研究しています。

※眼瞼痙攣に関する本学からの学術論文

Hosotani Y, Yokoi N, Okamoto M, Ishikawa H, Komuro A, Kato H, Mimura O, Gomi F.

Characteristics of tear abnormalities associated with benign essential blepharospasm and amelioration by means of botulinum toxin type A treatment. Jpn J Ophthalmol 2020;64(1):45-53

増田 明子, 木村 亜紀子. 眼瞼痙攣の治療 眼科 2020;62(2):129-134

細谷 友雅, 岡本 真奈. 眼瞼痙攣・片側顔面痙攣 臨床眼科 2019;73(11):202-6

細谷 友雅. 眼瞼痙攣とドライアイ あたらしい眼科 2018;35(7):885-90